

東金市ガス事業 経営改善策について

経営改善を図るために掲げた3つの方針について、以下の方向性で取り組む。

また、東金市ガス事業経営戦略に位置づけた計画の効果・成果を検証し、必要な改善策を講じながら、健全な経営を目指す。

○更なるコスト縮減に向けた検討

- ・これまでに引き続き、全ての業務・事務執行において、全職員へコスト縮減の意識づけの徹底を図り、体質改善に向けた取り組みを加速させる。
- ・不要不急、慣行的、効果の薄い業務等は、休止、廃止、削減を行う。
- ・卸元に対し、原ガスの安定供給と価格の据え置きについて、交渉を進める。
- ・予算執行方法(随意契約から競争入札へ)の見直しが可能となるよう、取り組みを進める。
- ・委託業務の目的、内容を再精査し、費用対効果等を検証した上で必要に応じて見直しを行う。
- ・コスト意識を踏まえたガスメーターの在庫管理と供給実態に沿った運用を検討する。
- ・新技術(スマートメーター等)の導入によるコスト縮減効果を検討する。

○新たな需要家獲得に向けての施設整備等

- ・営業活動を充実させ、新規需要家獲得や販売量の増加を目指す。

新たな需要家の獲得⇒開発事業者やハウスメーカーに本支管工事負担軽減内容や都市ガスのメリット等のPRを行う。

販売量の増加⇒需要家(特に一般家庭)に向け、ガス消費機器利用のメリット等のPRを行う。

- ・重油からガスへのエネルギー転換を検討する事業者に向け、ガス使用のメリットをPRするとともに、供給に必要な施設の改修、整備を進める。

○健全な経営に向けた料金の見直し等

- ・ガス料金の改定⇒次ページ参照。
- ・内管工事費の見直し⇒社会情勢を鑑み、定期的に適正価格への見直しを検討する。
- ・減価償却費の急激な増加を防ぐために、投資額の平準化を図った計画により施設更新を行う。

※建設改良積立金、災害準備積立金については、それぞれ目的を持った積立金であり、本来の目的で活用することを前提として考える。